

## 第2回 立命館大学薬学部 薬剤師生涯学習セミナー

謹啓

時下 先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学の薬学教育にご理解ご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび立命館大学薬学部にて、第2回薬剤師生涯学習セミナーを下記の通り開催する運びとなりました。つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 時：2016年2月27日（土） 15：00～17：10

会 場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県草津市野路東 1-1-1）  
コーニングハウスⅡ 4階講義室

対 象：薬剤師、その他医療関係者

参加費：無料

### 【特別講演】

■ 15：00～16：00

#### 『地域包括ケアにおける薬局の取組への期待』

厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課 課長補佐 浦 克彰 氏  
～休憩（16：00～16：10）～

■ 16：10～17：10

#### 『アルツハイマー病：なぜ、なかなか新薬ができないのか？』

立命館大学薬学部 教授 北村 佳久 氏

本研修会は、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修カリキュラム（I-2（0.5単位）及びV-2（0.5単位））並びに日本薬剤師研修センター（参加者1単位）の認定対象になっています。※どちらか一方を取得出来ます。受付時に選択してください。

【お問い合わせ先】

立命館大学 薬学部事務室

（担当者：藤井、高見澤）

電話：077-561-2563

主 催：立命館大学薬学部

共 催：（一社）滋賀県病院薬剤師会・（一社）滋賀県薬剤師会

■ 15 : 00 ~ 16 : 00

## 『地域包括ケアにおける薬局の取組への期待』

講師：浦 克彰（厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課）

（講演要旨）

厚生労働省では、少子高齢化が急速に進展する中、重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進している。この中で、薬剤師には、調剤や医薬品供給等を通じて、公衆衛生の向上・増進に寄与し、国民の健康な生活を確保する役割が求められている。

医薬分業については、処方箋受取率は70%近くまで上昇してきたものの、患者にとってはそのメリットが感じられないといった声も聞かれる。厚生労働省では、昨年10月に「患者のための薬局ビジョン」を公表し、患者本位の医薬分業を実現に向けた取り組みを進めることとしている。また、昨年9月には「健康サポート薬局のあり方について」（健康情報拠点薬局（仮称）のあり方に関する検討会報告書）を取りまとめ、地域住民の健康サポートの取組を推進することとしている。本講演では、最近の行政の取組に触れつつ、地域包括ケアシステムの中での薬局・薬剤師への期待についてお話ししたい。

（プロフィール）

平成17年11月 厚生労働省入省

平成20年4月 医薬品医療機器総合機構 新薬審査第三部 審査専門員

平成22年4月 厚生労働省 医薬食品局審査管理課 評価基準係長

平成24年9月 内閣官房副長官補(事態対処・危機管理担当)付 参事官補佐

平成26年8月 厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課 課長補佐

---

■ 16 : 10 ~ 17 : 10

## 『アルツハイマー病：なぜ、なかなか新薬ができないのか？』

講師：北村 佳久（立命館大学 薬学部 薬効解析科学研究室）

（講演要旨）

神秘の小宇宙、『脳』。しかし、老化、生活習慣・環境、遺伝的原要因などにより、脳のホメオスタシスが破綻したとき、アルツハイマー病などの神経変性疾患を発症する。超少子高齢化社会を迎えた現在、老化とともに発症頻度の高まる神経変性疾患の治療薬開発は急務の課題であり、多くの製薬企業も参入しているが、いまだ特効薬はない。日本では現在、4剤が臨床使用されているが、その次が、なかなか上市されていない。アルツハイマー病患者の脳の特徴的病理所見は、著しい脳萎縮、老人斑および神経原線維変化の形成が知られている。そこで、アルツハイマー病の基礎研究の現状を紹介し、アルツハイマー病の治療薬開発の問題点と今後の展望について考えてみたい。

（プロフィール）

1983年3月 広島大学医学部総合薬学科卒業、1988年9月北海道大学にて薬学博士を取得。その後、北海道大学にて教務職員・助手、京都薬科大学にて助教授・准教授、ドイツ・フライブルク大学医学部精神神経薬理学講座にて客員研究員(アレクサンダー・フォン・フンボルト財団奨学研究員)などを経て、2015年4月に立命館大学薬学部(創薬科学科)の教授に就任。

研究テーマは「神経変性疾患の発症メカニズムの解明および根本的治療戦略の開発」。

1992年より日本薬理学会の評議員、2000年より日本神経化学会の評議員。

## ●セミナー会場のご案内●

【場 所】立命館大学びわこ・くさつキャンパス コラーニングハウスⅡ 4階講義室

(滋賀県草津市野路東 1-1-1)

※セミナー当日は公共の交通機関をご利用ください。車での来場はご遠慮ください。



—————▶ 徒歩ルート

バスターミナル